



壇上に掲げた市章の除幕をする市長ら

4月1日に発足した養父市の誕生を祝う養父市誕生記念式典が7月4日、八鹿文化会館文化ホールで開かれました。式典には、板倉総務省自治税務局長や井戸兵庫県知事らの来賓、市民の皆さんなど総勢800人が出席。盛大に養父市の誕生を祝うとともに、募集をしていた養父市市章デザインの発表も行われました。

養父市誕生 記念式典を挙行

— 養父市を表す「市章」も発表 —



勇壮な大杉ざんざこ踊り

式典には、養父市内で芸術・伝統文化活動に取り組んでいる団体に出演いただき花を添えていただきました。まずオープニングでは、なんとたん吹奏楽団の皆さんが息の合った演奏を披露。養父市の概要をまとめたビデオが上映された後、せきのみや子ども歌舞伎クラブのメンバー6人が、祝い事などで演じられる農村歌舞伎「葛畑三番叟」を熱演しました。

吹奏楽や踊りで
盛大に



葛畑三番叟を熱演する歌舞伎クラブの子どもたち

式典では、佐々木市長らと緑の少年団の子どもたちの手によってステージ上に掲げられた市章の除幕がされ、養父市のシンボルとなる市章を発表。式典の最後には、大杉ざんざこ踊り保存会の皆さんによる「大杉ざんざこ踊り」が披露され、掛け声と太鼓の音頭に合わせた勇壮な舞いで式典を締めくくりました。